A group of approximately 30 people, including men and women of various ages, are gathered in a large indoor gymnasium. They are standing in a circle, with their arms around each other's shoulders, suggesting a team-building or group activity. The gymnasium has a polished wooden floor with white and yellow lines. In the background, there are basketball hoops and a white wall. The overall atmosphere is one of unity and collaboration.

益田を選ぶ「種蒔き」

島根県 益田市の挑戦



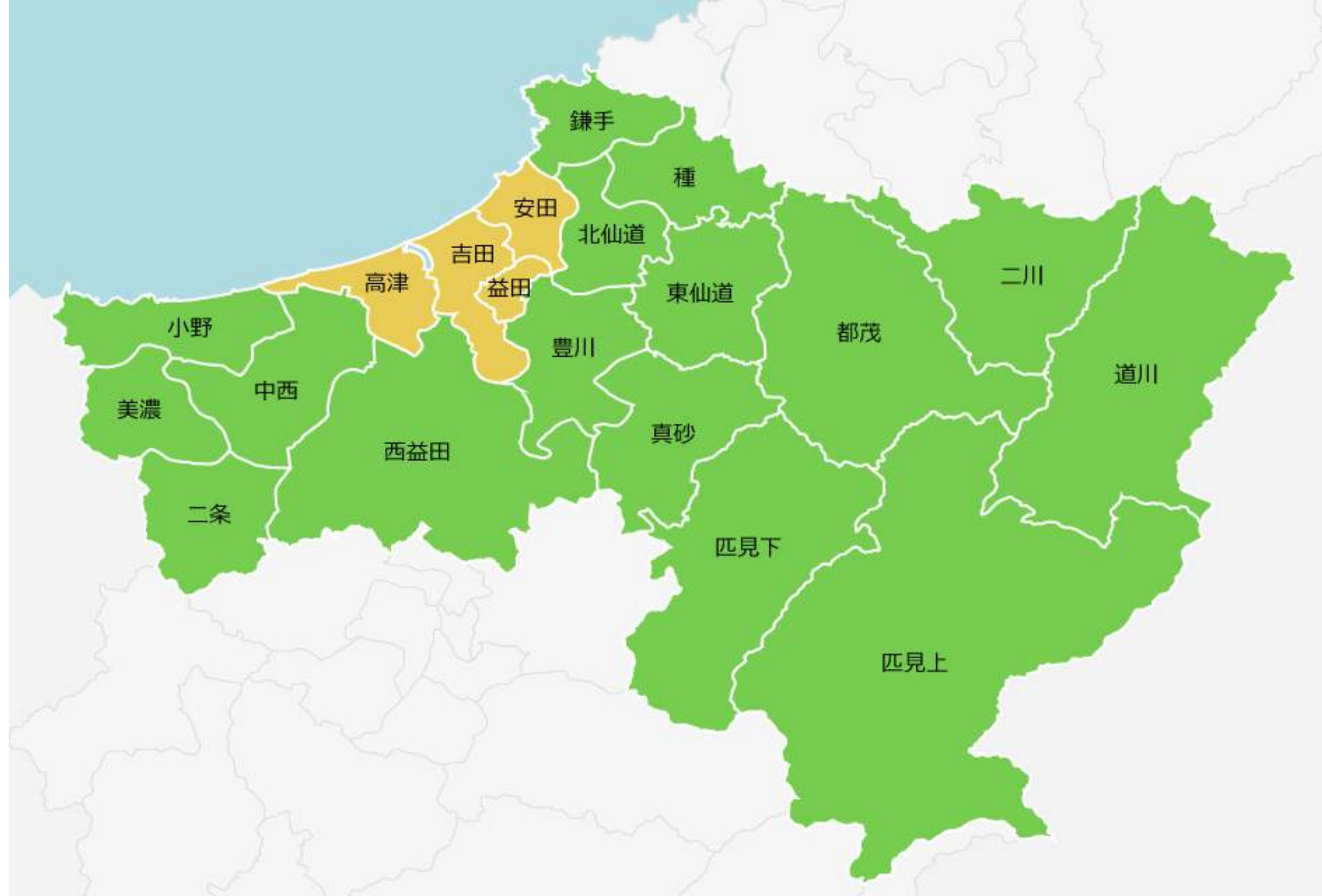
島根県益田市
MASUDA CITY





東京都23区以上の面積733km²のまち

島根県内 最大面積の中に、
20地区の集落 & 4万7000人



鎌手

種

安田

北仙道

吉田

東仙道

高津

益田

豊川

都茂

二川

小野

中西

道川

美濃

西益田

真砂

二条


匹見下

匹見上

「過疎」発祥の地

面積の70%が中山間地域

4つの市街地と16の中山間地域



子どもが産みやすく、ゆとりある生活ができるまち
豊富な余暇時間 と 全国有数の出生率

全国1位の余暇時間 / 全国2位の合計特出生率

圧倒的な人口流出 と Uターンしない若者

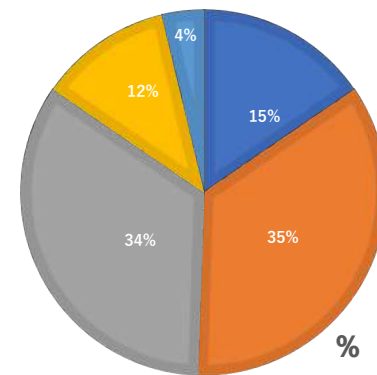
高校卒業時に、**9割**の高校生が市外転出の実情
大学卒業後に、Uターンする若者**3割**の実情
(出典 平成27年 益田市総合戦略)

益田市には「**なにもない**」と感覚的に答える子どもたち

【益田市には、「**なにもない**」】

51%
そう思う。

275人
544人中



- とてもそう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない
- 無回答

→ 都会のリソースフルな環境への憧れを醸成

原因
その1

職業観に偏重した
ワークキャリア教育

→自然と都会志向となる

全国1位の豊富な余暇時間に裏付けされた、多様な足場・顔を持てる環境
ワークキャリアから、ライフキャリアの概念へ



(1) 仕事の顔



(2) 地域での顔



(3) 趣味での顔



(4) 家庭での顔

平成17年度から取り組んできた島根県のふるさと教育

原因
その2

ひと・もの・ことを知ることに特化した
ふるさと教育

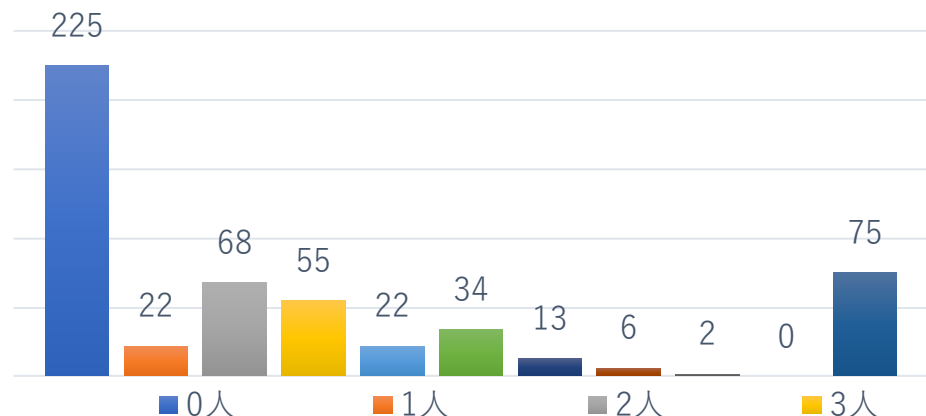
地域の大人と子どもが繋がれていない現実

【気軽に話をする事ができる、
地域の大人の人数】

【益田市には魅力的な大人が多い】

225人
535人中

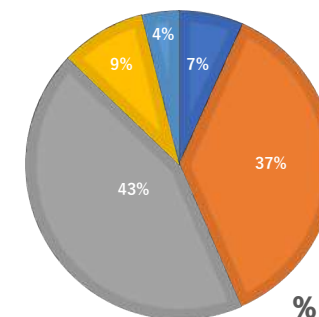
42%が、0人と回答



282人
536人中

53%
そう思わない。

- とてもそう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない
- 無回答



→ ロールモデルとの出会いがないまま大人へ

講演ではなく、対話で人を繋ぎ、

繋がった大人と欲しい未来を「つくる」





ライフキャリア教育で、未来をつくる

Hiroaki
Yamamoto



益田市長
山本浩章

益田市のライフキャリア教育

従 前

- ・キャリア教育 = ワークキャリア教育に偏重
- ・ふるさと教育 = ふるさとを知ること偏重

刷 新

(1) 仕事だけではない、多様な足場・顔(ライフキャリア)を知る

(2) ふるさとの人と繋がり、自分の手でまちをつくる

→新キャリア教育+新ふるさと教育 = ライフキャリア教育



益 田 版 カ タ リ 場

7 地域の大人とのつながりの一歩目
講演ではなく、1対1の対話

「カタリ場」とは？

高校生と首都圏の大学生が授業の中で語り合うキャリア学習プログラム。親や先生のようなタテの関係でもなく、友達のような横の関係でもない、ちょっと年上で利害関係のない「ナナメの関係」との対話がコンセプト。認定NPO法人カタリバが開発して、2001年度より首都圏を中心に展開されている。

[キーワード] #大学生 #一回きりの「ばいばい」の関係だから話せること

「益田版カタリ場」とは？

地域の大人と子どもが1対1で対等に語り合い、これから「どんな大人になりたいか」生き方を考える授業です。人との繋がりが希薄な時代だからこそ、2時間の授業の中で本音で話し合うことによって、子どもと地域の大人が繋がり、その後も気軽に話し合える関係になります。

[キーワード] #地域の大人 #「またね」の関係づくり





小学校で高校生と語り、



中学校で地域の大人と語り、

益田版
カタリ場!



高校で働く大人と語り、



高校卒業前に、小学生に語る。

2018年のカタリ場実績

・ 市内11小学校 / 10中学校 / 2高校での実施

のべ193人

・ **143人**の地域の大人と、**574人**の中・高生が対話

(昨年比48人増)

のべ174人

・ **53人**の卒業前の高校生と、**374人**の小学生が対話

(昨年比15人増)

→ 総計: **1144名**の語り合い (人口比率**2.5%** / 人口: 4万6000人)

→ 地域人材の発掘・育成としての効果も！

地域人材の育成へ

語る大人の募集方法

中学校
カタリ場



- 公民館から紹介されて参加
- 市職員が研修として参加

高校
カタリ場



- 市内企業からの職員派遣
- 市職員が研修として参加

小学校
カタリ場



- 市内高校との連携



新しい人材の
発掘

+1

職場体験も、体験中心から**対話**重視へ

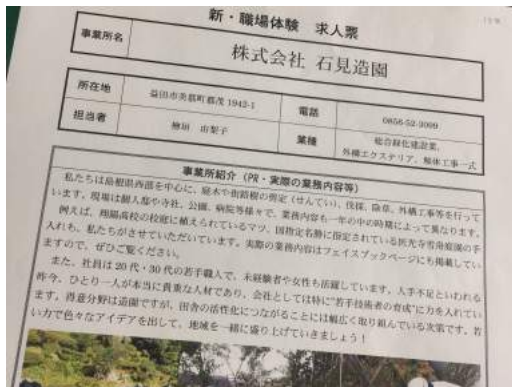
益田で働く「やりがい」や「想い」に触れる

つぶ・運賃箱

新・職場体験のポイント

島根県 益田市

ライフキャリア教育で
未来をつくる。



求人票発行



生徒への面接試験



事業所との研修



事業所での対話




出会った想いを
まとめた記事を作成



職場体験での対話の効果

	対話がある と感じた	対話がない と感じた	
新職場体験において、 大人と働き方への思いや生きがいなどの 対話がありましたか??	143人	25人	対話によって、
働くことに対するイメージが良くなった	93%	60%	33%増
益田のことが好きだ	83%	48%	35%増
益田市は魅力的なまちだと思う	75%	32%	42%増
一度は外にでたとしても、 将来は益田で暮らしたい	49%	32%	17%増



中学生による 公民館での地域活動

2 地域の大人との活動
まちを「つくる」の練習

公民館を拠点とした、中学生地域活動チーム



【北仙道地区】
陽光会



【豊川地区】
とよかわっしょい



【匹見3地区】
匹中会

→ 公民館職員による仕掛け&伴走

公民館を拠点とした、中学生地域活動チーム



昨年度の活動の一例

- ・ 公民館の一室をリノベーション
- ・ 文化祭などへの出店
- ・ 月に2回の自学自習
- ・ 地域の大人とのキャンプ合宿 など

マイプロジェクト

高校生による マイプロジェクト

カタリ場で出会った大人に憧れて。

3 自らの手でまちを「つくる」
大人と協働して、地域に新しい価値を提供

高校生による地域活動（マイプロジェクト）




【UNITY】

公民館に向いて、中学生への
寺子屋活動



【カレー☆ライス】

地域のお祭り
で、高校生による出店

A group of approximately 30 people, including men and women of various ages, are gathered in a large indoor sports hall. They are huddled together in a circle, with many having their arms around each other's shoulders, suggesting a team huddle or a moment of collective encouragement. The gymnasium floor is polished wood with visible court lines. In the background, there are basketball hoops and a wall of large windows. The overall atmosphere is one of unity and shared purpose.

次のステージへ



高校生による地域活動の拠点

サードプレイスの必要性

年齢に応じた活動拠点の必要性

【小・中学生】

【対象】

高校生

公 民 館

【拠点】

市 中 心 部 の
サ ー ド プ レ イ ス

地域の大人としっかり地域で活動
小・中学校単位での子どもたちの活動
が前提。関わる大人も、その地区の大
人との交流が基本となる。

【背景】

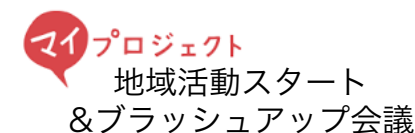
(1)全市の高校生による活動が前提
各地区の子どもが、市の中心部にある
高校へ通う。活動単位も、地区を超え
た生徒同士となる。

(2)市内外の人材との交流の促進
関わる大人も、地域の大人だけでなく、
グローバルかつ多様な大人との関
わりが求められる。


高校生向けのサードプレイス

市内外のロールモデルとの出会い・交流の場

マイプロジェクト(地域での活動)が
生まれる価値創造の場
(インキュベーション/アントレナーシップ プレイス)



→ グローバル人材の育成へ

A group of approximately 20-25 people, including men and women of various ages, are gathered in a large indoor sports hall, likely a gymnasium. They are all huddled together in a large circle, with their arms around each other's shoulders, suggesting a moment of collective celebration or achievement. The floor is polished wood with yellow and green court markings. In the background, there are basketball hoops and a plain wall. The overall atmosphere is one of joy and accomplishment. The text '確かな成果' is overlaid on the center of the image, underlined.

確かな成果

中高生対象のアンケートより

2018年度 益田版カタリ場事後アンケート

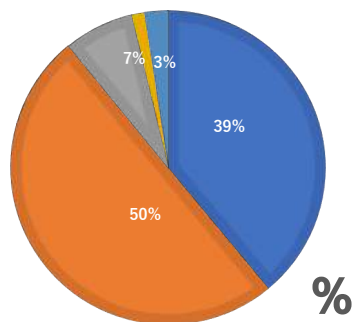
【益田市の大人のイメージが良くなった】 【益田市には魅力的な大人が多い】

89%

そう思う。

482人
/541人中

- とてもそう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない
- 無回答



事前 43%
233人 /536人中

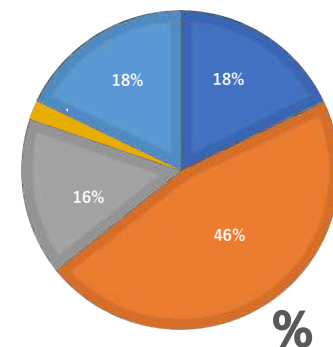
→ 事後

86%

そう思う。

407人
/543人中

- とてもそう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない
- 無回答



2018年度ハローワーク就職希望調査

地元での高卒就職希望者数が、
2018年度40%から2019年度57%へ

A photograph showing a group of people, including children and an elderly woman, gathered around a table. They are looking at a tablet held by the elderly woman. The scene is indoors, possibly a classroom or a community center. The text is overlaid on the image in a white box.

保幼・小・中・高と、きちんと積み上げること

島根県

Shimane Pref.

益田市

Masuda City

将来、益田を選ぶ「種蒔き」